

「2R行動ガイド しまつのこころ得」祭（イベント）編について

市民，事業者，観光客が共にごみ減量に取り組んでいただくための啓発ツールとして，宴会，観光，暮らしといった行動場面別の「2R行動ガイド」を作成するため，当部会にワーキングチームを設置し，委員の皆様の多大な御協力のもと，平成29年4月から「しまつのこころ得」（暮らし編，宴会編，旅編）を取りまとめ，市内外に積極的に発信している。

今回，「しまつのこころ得」の新編「祭（イベント）編」について，ワーキングチームの皆様からの御意見を頂戴し，別添のとおり完成した。

1 概要（「祭（イベント）編」の作成）【別添参照】

- (1) 「新・京都市ごみ半減プラン」を推進するため，「イベント」開催時にごみ減量を図ることができる取組を「技」として掲載
- (2) 新しくキャラ（てんぐどん）を設定し，キャラが取組内容をわかりやすく解説

2 冊子の仕様

観音折り，A5サイズ，

1万部 日本語版のみ作成（主にイベント主催者（市民）向けのため）

3 冊子検討経過

平成30年12月 ワーキングチームでの第1回検討会開催
(以降，メール等での各委員との確認作業)

平成31年3月 審議会部会で確認
(印刷作業)

平成31年3月末 配架開始

4 配架場所（予定）

各まち美化事務所，各エコまちステーション，各図書館，京エコロジーセンター，
キャンパスプラザ京都，河原町三条観光情報コーナー 他

5 更なる新編の作成（プラスチックごみ編（仮称））について

市民に使い捨てプラスチック削減につながる取組（マイバッグ・マイボトル携帯等）を紹介する新編（プラスチックごみ編（仮称））を31年度の早期に作成予定。

138

平成29年度の「京都市認定エコイベント」の登録イベント数
日本三大祭りの一つに数えられる祇園祭から観光行事、学園祭、地藏盆や地域のお祭りまで年間1万件を超えるイベントが開催されています。

ごみゼロを目指す「しまつのこころ得」
シーン別の技を紹介



お祭りやイベントをエコに。
来場者にわかりやすく伝え、
どんどん巻き込もう。



企画段階からごみ減量を
考えましょう。



「お祭り前よりも美しく」を
合言葉に



NO使い捨て容器！
食器はリユースで！
返却場所は明確に！

京都に息づく「しまつのこころ」

ごみも、もとをたどればごみだったわけではなく、もとは動植物のいのちや地球の貴重な資源です。そのため、私たちは、多様ないのちとともに、限りある資源を分かち合いながら生きていくことを自覚し、大切なものを無駄にせず、資源やエネルギーの消費を減らさねばなりません。

京都市には、豊かな自然と長い年月、多くの人の手により育まれてきた伝統行事、伝統文化・工芸、食文化などがあり、また、自然と共生しながら生活してきた知恵や工夫、心構えとして、門掃きや打ち水、「しまつのこころ」などがあります。

「しまつのこころ」とは、いのちや資源、それを活かす作り手の皆さんへの感謝のこころから生まれてくる考え方であり、「無駄遣いしない」、「節約・節約する」という意味で用いられ、生産から廃棄のことまで考えて、「良いものを長く使う」ようにする、電気や水の使用を節約するなど、2R^{*}にもつながる考え方です。これは、季節の食材を余すことなく使い切る京都市の食文化などにも息づいています。

この冊子を御覧いただき、できることから少しずつ環境にやさしい取組を進めていきましょう！

※リサイクルだけに頼らず、無駄・非効率・必要以上の消費・生産を抑制する「リデュース（発生抑制）」、再使用する「リユース（再使用）」を重点的に進める考え方

1/2以下

京都市のごみ減量の目標は、ごみ量をピーク時の年間82万トンから平成32年度までに39万トンへ半減以下にすることで、環境負荷の低減とごみ処理経費の削減を進めています。

402グラム

市民1人1日あたりのごみ量は他の政令市平均の70%で、政令市中最少です（平成29年度）。

約50年

唯一の最終処分場である「東部山間埋立処分地（エコランド音羽の杜）」の使用期間は、ごみ半減を達成してもあと約50年で、子どもや孫の世代に少しでも長く引き継ぐために、皆様のより一層の御協力が重要です。

「京の祭」は
エコゼロ！！

2R行動ガイド
しまつのこころ得



祭り
の巻

「京の祭」は
楽しく、エコに！！



「観光のまち」であり、「学生のまち」であり、地域の伝統行事が今も数多く受け継がれる京都。たくさんの方が集まる祭りやイベントは、短時間で大量のごみが発生し、環境に大きな負荷を与えておる。「やつで」で13の技を颯爽と紹介するぞよ！

リユース食器助成制度

イベントから出るごみの大半を占める使い捨て食器をなくし、ごみ減量の特効薬となる「リユース食器」の導入費用に対する助成制度を設けています。導入費用の2分の1（上限50万円）を助成しています。

分別リユースごみ箱の貸し出し制度（無料）

ごみの分別を推進し、参加者の環境意識の向上を図るため、イベント時の分別リユースごみ箱の貸出を実施しています。

お問い合わせは、ごみ減量推進課または各区役所・支所内のエコまちステーションへ

この印刷物が不要になった場合は「雑がみ」として古紙回収等へ！

これまでに京都市では、食品ロス等のごみが多く発生する3つの場面（日々の暮らし、宴会、旅）の皆様により一層2R^{*}に取り組んでいただけるよう「2R行動ガイド しまつのこころ得」を3巻発行しています。さらに、英語・中国語・ハンゲル版も作成しています。

※無駄・非効率・必要以上の消費・生産を抑制する「リデュース（発生抑制）」、再使用する「リユース（再使用）」



監修：京都市廃棄物減量等推進審議会循環型社会・ごみ半減をめざす条例・プラン推進部会
発行：京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課 平成31年3月 京都市印刷物000000号



祭の前

あんな技 こんな技



「京都市認定エコイベント」を京都市ホームページで紹介しているのじゃ！登録証の交付やのほりも貸し出ししているのじゃ！ぜひ登録を！

祭の設営中

あんな技 こんな技



リユース食器は返却してね！



お祭りでは6種類の分別回収がそれぞれ呼び掛けましょー！

祭の最中

あんな技 こんな技



地蔵盆は町内が一緒になって環境とまちの未来のことを考える絶好のチャンス！！



祭の後

あんな技 こんな技



ごみ拾いせずともわしの秘技で片付けてやるー！

新匠！そんな技はないでしょー！京都府の環境省から「リユースなわー」

技1 エココとを考えたお祭りに！

お祭りを企画・主催する人が、少しでも多く環境について考えること。それが来場者へのエコ意識の拡大につながります。

技2 京都のお作法

「ごみゼロ」のお祭りに！

無駄なごみを出さないことで、ごみ量を減らせます。できるだけ、来場者にごみを持ち帰ってもらうように呼びかけましょう！

技3 地産地消。

これもまたエコ！

お祭り会場で売る商品や使う物もできれば地元の農産品や地場産業で。輸送にムダなエネルギーを使いません！

技4 つけばなし、出しっぱなし！忙しいイベント中は盲点になりがち！

電気・ガス・水道の使用は、スタッフがしっかり管理を。ムダをなくす計画と参加者への呼びかけも節約のポイントです。

技5 NO使い捨て容器！食器はリユースで！

お祭りの後に残るのは思い出と、大量のごみの山。使い捨て容器をやめて、リユース食器を使いましょう！

はっはっはっ！提供時の声掛けと返却場所をわかりやすくすることじゃな！



技6 ごみ箱も使い捨て？分別リユースごみ箱の活用を！

京都市では、分別リユースごみ箱の貸出を無料で行っています！ぜひご活用を！分別の声掛けから、袋の交換まで徹底しましょう！

技7 チラシってそんなにいる？

チラシは余ればごみになります。閲覧板やSNSなども有効に活用し、印刷枚数を減らしましょう！さらに、どうしても余ってしまったチラシは雑がみとしてリサイクルしましょう！

技8 移動手段もエコで！

近くのお祭りに行くときは、自転車や徒歩で！遠くのお祭りは、公共交通で参加しましょう！

技9 あなたも、わたしも、マイ・マイ・マイ！！

マイバッグ・マイボトル（カップ）・マイ箸の持参をもっとアピールしましょう！マイ・マイ・マイを実践している人には、お得感をアピールするなどの工夫も！

技10 来場者と一緒に取り組もう！

エコの取り組みの一つひとつに触れてもらうことで、来場者の環境に対する「気づき」のきっかけになります！

技11 お祭りでもマナーを守って！

ごみのポイ捨ては厳禁です！お祭りでの缶・びん・ペットボトルをきちんと分別しましょう！来場者はごみの持ち帰りにも協力しましょう！

技12 開催前よりも美しく！

お祭り終了後は、使用した会場とその周辺をスタッフみんなでごみ拾い。分別したごみは、必ず適正に処理しましょう。

技13 のぼりやユニフォームの再利用

一度しか使わないなんてもったいない！他のお祭りで再使用することも考えて準備しましょう。